

## 蒲生干潟周辺の塩分濃度 69

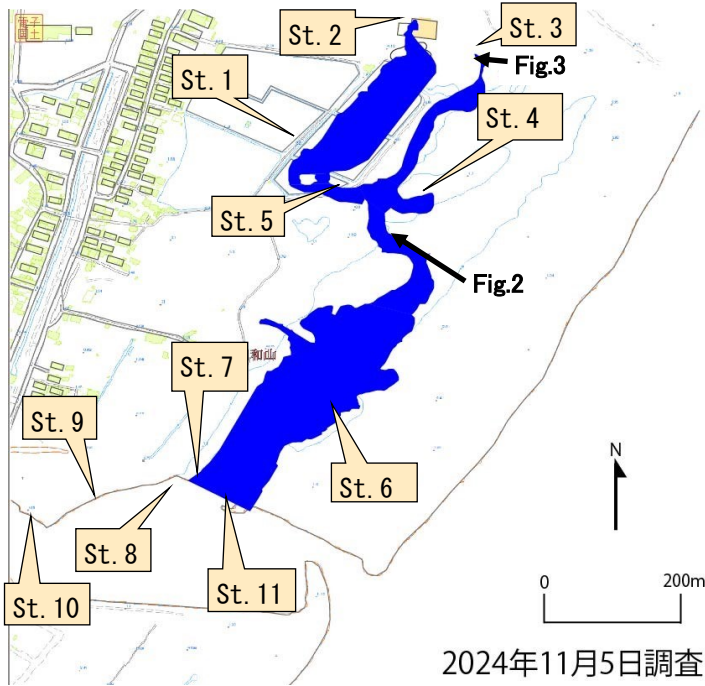


Fig.1 2024/10/23 採水点

Table.1 2024. 10月 塩分濃度(%)

採水点	2024 10/23	2024 10/1	増減	2023 10/26	増減
St. 1	1.8	1.3	0.5	1.3	0.5
St. 2	1.3	1.3	0.0	1.5	-0.2
St. 3	1.2	1.1	0.1	1.6	-0.4
St. 4	2.9	2.1	0.8	2.0	0.9
St. 5	2.3	1.9	0.4	1.8	0.5
St. 6	3.2	2.4	0.8	2.5	0.7
St. 7	3.3	3.1	0.2	2.5	0.8
St. 8	3.3	3.2	0.1	2.8	0.5
St. 9	3.1	3.2	-0.1	3.3	-0.2
St. 10	3.2	3.1	0.1	2.4	0.8
St. 11	3.5	3.3	0.2	3.2	0.3

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 南側潟湖と北側潟湖の接続部分付近



Fig.3 ヨシに覆われたSt.3付近の様子

調査日時：2024年10月23日（水）10:30~12:00（干潮 11:37 潮位 111cm），天気：くもり

干潮の時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。今月は、地形調査日が別日だったため、Fig.1の地形は塩分濃度測定時とは異なる。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2024.10月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2024.9月，2023.10月）結果と比較した。

干潮の時間であったが、潮位は111cmあり潟湖内の水量もそれほど少なくはなかった。北側潟湖と南側潟湖の接続部分付近も十分な水量を保っていた（Fig.2）。北側潟湖のSt.3付近は、ヨシの生息域の変化に伴いほぼ視認できない状況が続いているが、足下には水が張っているのを確認できた（Fig.3）。塩分濃度は、北側潟湖の深部（St.1~3）は先月に近い値を示し、それよりも河口側（St.4~7）は、河口（St.10）の値に近い、高めの数値を示した。昨年と比較すると、同様にSt.4~8の南側にかけて値が高くなっている。

（沼尾和弥）